

第6学年 特別活動	令和7年7月9日(水)	指導者	三原市立沼田東小学校 長野 寛生
		学年組	第6学年1組
Let's サマー・カーニバル!! ～1年生を招待しよう～		児童数	21名
		本校で育てる 資質・能力との関連	知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体性、自他の尊重
		場 所	6年1組教室

- 1 議題「サマー・カーニバルで1年生が喜んでくれる内容を考える！」
(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

【児童の実態】

本学級の児童は、今年度から児童主体で話し合いを進める「アップデート会議(学級会)」を実施しており、司会グループの役割や動き、みんなで決定したことを実践することの意義や方法について理解してきている。しかし、4月に実施した事前アンケートでは多くの児童(76%)が自分の考えを伝えることに苦手意識をもっていると答えた。発表に対しても、積極的とは言い難い状況にある。また、語彙力の少なさから、短い言葉での発言に留まっていることで、対話の場面でも深まりが少ない状況が見られる。1学期後半になり、自分の考えに理由や根拠を付けたり、友達の意見に繋げたりする発言は少しずつできるようになってきた。

最高学年となり、これまでスマイル(縦割り)班遠足や給食準備などの様々な行事や活動で第1学年の児童との交流の機会をもってきた。そのため、事前アンケートでは多くの児童が、「もっと1年生との仲を深めたい」「もっと学校を好きになってもらいたい」と思っている。

【議題設定の理由】

本議題は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕の内容(1)に基づき設定した。小学校学習指導要領には、次のように示されている。

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

本時で扱う議題は、「もっと1年生との仲を深めたい」「もっと学校を好きになってもらいたい」という児童の思いや願いを議題化したものである。1年生との交流を通して、異学年との人間関係を築くだけでなく、学級の絆を深め、自分たちの力でよりよい学校生活をつくっていかうとする態度を養っていききたいと考え本議題を設定した。

【指導観】

事前の活動では、本単元「Let's サマー・カーニバル!! ～1年生を招待しよう～」の目的と目標を設定する。何のために行うのか、そのために何を頑張るのかを明確にし、話し合いの土台作りを行う。

本時では、「1年生のために」という相手意識と「より仲を深める」、「楽しんでもらいより学校を好きになってもらう」という目的意識を明確にし、本議題に対して必要感をもって取り組めるようにする。本時の活動では、提案理由を確認し、話し合いで意識したいつなぎ言葉(同じで、似ていて、違って等)を確認することで、一つの意見だけで物事を決定するのではなく、多くの意見や反対意見も取り入れな

がら合意形成を図り、充実した話し合いになるようにする。

事後の活動では、第1学年の児童のために全員で役割を分担し、協力して取り組むことで、自分たちで計画・準備する楽しさや充実感を味わえるようにしたい。そして、最後の活動後には、自分たちだけでなく、1年生にも振り返りやアンケートを行うことで、今後の活動への自分たちの問題意識につなげていく。

3 評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<p>みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。</p> <p>合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。</p>

4 指導と評価の計画

	日時	児童の活動	評価規準（評価方法）
事前	7月2日（水） 学級会	1年生とのサマー・カーニバルに向けて、目的と目標を話し合い、決定する。	自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 【態】（提案カード・行動観察）
本時	7月9日（水） 学級会	サマー・カーニバルに向けて、どんな遊びやゲームを用意するのか話し合い、決定する。	合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。 【知・技】（行動観察） 多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、自分の意見を表現している。 【思・判・表】（行動観察・ワークシート）
事後	7月16日（水） サマー・カーニバル	これまで計画・準備したものを実際に実行し、振り返りを行う。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 【態】（行動観察・ノート）

5 本時の目標

サマー・カーニバルに向けて、第1学年の児童との仲を深めたりもっと学校を好きになってもらったりするために、どんな内容（遊びやゲーム）を用意するのか話し合う活動を通して、一人一人の意見を尊重しながら合意形成を図る必要性に気づき、内容を決定することができる。

6 本時の展開

話し合いの順序	教師の支援	評価規準（方法）
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介	○実行委員が目標を発表することで、一人一人ねらいをもって自分の役割に臨めるようにする。	
3 議題と提案理由の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議題 サマー・カーニバルで1年生が喜んでくれる内容を考える！</p> <p>理由 1年生との仲をもっと深めたいから。 1年生にもっと学校を好きになってもらいたいから。</p> </div>	
4 先生の話	・互いの意見を尊重し、合意形成を図ること やつなぎ発言を意識することをおさえる。	
<p>㊦ 自分の意見と友達の意見を比べ合い、みんなが納得する話し合いにしよう。</p>		
5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月16日（水）5時間目（1時間） ・ 場所（教室 or 体育館） ・ 遊びやゲームの時間（30分間） 	
6 話し合い (1) 個人	○話し合う前に個人思考の時間を設定することで、一人一人が意見をもって話し合いに臨めるようにする。	
(2) ペア・グループ (3) 全体交流	<ul style="list-style-type: none"> ○つなぎ発言カードを活用して話し合うことで、一人一人の意見を尊重できるようにする。 ○児童の合意形成を方向付けたり、結論に結びついたりするような発言をしない。 ○話し合いの流れの中で、安易に多数決で決めるようとする場面があれば、ファシリテートを行い少数の意見も大切にできるようにする。 ○司会が進行に困ったときは、方向性を示唆し軌道修正を行う。 ○自治的活動の範囲を越えそうな場合は、適宜、指導・助言を行う。 	よりよい学級や学校生活づくりに向けて考え判断し、多様な意見を生かして合意形成を図り、建設的に話し合っている。 【思・判・表】 （行動観察・ワークシート）
(意見が譲れない場合) (4) 代案を考える（個人）	<ul style="list-style-type: none"> ○どちらかを決定する際、意見を譲ることができないときは代案を考える時間を確保する。 ○必要に応じて、自分の意見に固執せず、納 	

